

北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鶴川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

1. 事業概要

1.1 目的

平取町、日高町、むかわ町は、それぞれアイヌ文化や馬文化など多彩な文化を持つ。「二風谷アイヌ文化博物館」には、重要無形文化財の指定を受けた資料があり、文化的環境や様々な踊りなどアイヌ文化について深く知ることができる。また、この地域は日本でも有数の馬産地であり、体験乗馬や牧場見学をすることができる。それに加え、夫婦川と呼ばれる「鶴川」と「沙流川」では、ラフティングなど自然コンテンツを体験できる。鶴川は比較的緩やかな「女川」と、沙流川は大雨で洪水になるほどの暴れ川という理由から「男川」とも呼ばれ、自然体験では特徴の異なる2つの川を一度に楽しむことができる。このように自然と文化を活かしたコンテンツが多くあるのがこの地域の魅力である。

一方で、札幌市から車で1時間半～2時間半、新千歳空港から車で1時間弱～1時間半程度の立地でありながら、観光客は国内の方が多い。インバウンドに対してはコンテンツの検討を進めているものの、情報発信ツール等の対策も普及していなく、十分な誘客には至っていないのが現状である。また、日帰りや通過型の観光客が大半を占めており、受け入れ環境整備も十分にできていない。

そこで、本事業では、「アイヌ文化体験」「夫婦川を活用した体験」「馬を活用した体験」など、地域の自然・文化を組み合わせた独自のツアーコース造成を行い、さらにツアーコースにおける多言語対応などのツール検討や観光客の受け入れ環境整備など、インバウンドに対応した体制を構築する。そうして、課題解決と観光資源の磨き上げを進め、地域での消費拡大につなげることを目的とする。

1.2 業務概要

事業名：「訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業」

鶴川・沙流川周遊コンテンツ造成事業

事業対象：鶴川・沙流川エリア（平取町・日高町・むかわ町）

期間：令和3年7月8日（木）から令和4年3月18日（金）

商品造成のターゲット：台湾及び欧米豪のファミリー層（少人数旅行者）

活用する観光資源：・アイヌ文化体験コンテンツ

・鶴川・沙流川を活用した体験コンテンツ

・引退した競走馬を活用した体験コンテンツ

高付加価値・地域ならではのコンテンツを造成するための方針

- ・ 各地域の特徴あるコンテンツの抽出
- ・ 将来的なATを意識したストーリー仕立てのコース造成
- ・ 地域観光事業者との調整による、地元密着型のコース造成



図1 対象地域

1.3 業務内容

事業内容を以下に示す。

- ① 地域観光資源の選定
商品販売に向けてDMO・地域観光関連事業者へのヒアリングを行い現状の地域のコンテンツの洗い出し・選定を行った。
- ② ストーリーの確立
専門家によるATセミナーや、地域とのワークショップを通じて、モニターツアー・販売商品のストーリーを組み立てていった。
- ③ ツアーコースの造成・検証
策定したツアーコースにおいて、3回のモニターツアーを実施し、各回で招請専門家や、外国人モニターの意見を集約した。
- ④ 造成コースの販売
モニターの意見や専門家のアドバイスをいただきながら販売用コースの造成・OTAへ流し込みを行った。
- ⑤ 受入環境整備
「地元ガイドの育成」「アイヌ文化ガイドツールの作成」を実施した。どちらも、多言語対応が必要だという再確認を行った。

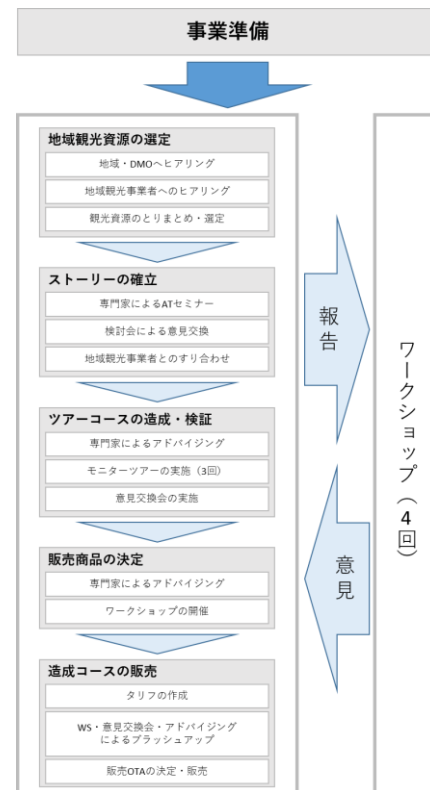


図2 フロー図

1.4 事業工程

本事業の工程を以下に示す。

表1 事業行程表

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ストーリーの確立 コース策定	ワークショップの開催	●●							●	●
	アイヌ文化ガイド育成						●			
	コース策定		→	→	→	→				
実証	モニターツアーの実施				●	●		●		
コース造成 ブラッシュアップ	専門家による アドバイス	●			●	●		●	●	
	造成コースの ブラッシュアップ		→	→	→	→	→	→	→	
販売	造成コース販売									→

1.5 体制図

本事業の体制図を以下に示す。

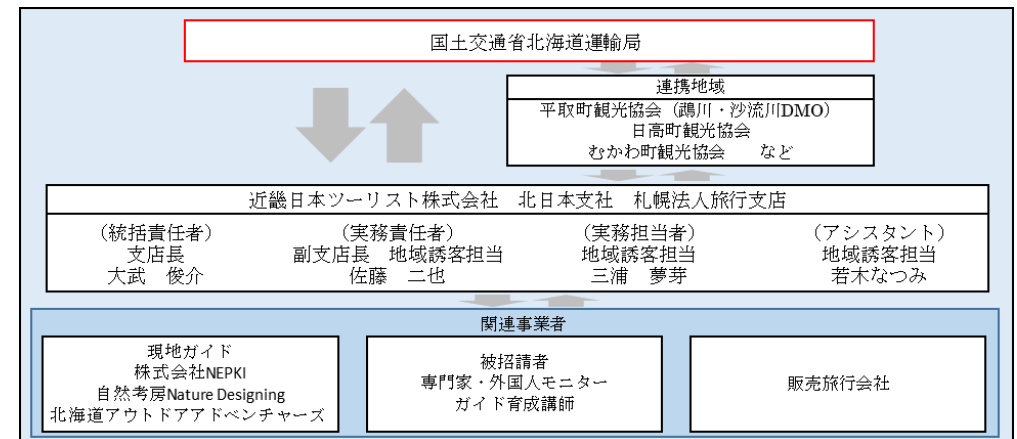


図3 体制図

1.6 コンテンツ造成にあたり協力を得た専門家

- 坂本 昌彦氏 / 一般社団法人 北海道体験観光推進協議会 代表理事 / 道内の観光体験の現状について
- 高田 茂氏 / 鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部 部長 / ATを通じた取り組みについて
- 藤岡 誠氏 / 北の地域観光サポート 代表 / 旅行商品販売について
- 遠藤 昌子氏 / 通訳案内士 / 欧米豪向けモニターツアー（夏） AT有識者モニター
- Josh Norris氏 / Japan Powder Ski Holidays / 欧米豪向けモニターツアー（夏） オーストラリア人モニター
- 温芮羚氏 / オンライントラベル株式会社 / 台湾向けモニターツアー（秋・冬） 台湾人モニター

1.7 費用

本事業の経費を以下に示す。

表2 事業費用

項目	単価	数量	単位	小計
ワークショップ	350千円	1	式	350千円
ガイド育成	330千円	1	式	330千円
モニターツアー	1,000千円	3	回	3,000千円
受入環境整備	300千円	1	式	300千円
全体運営管理費等	565.3千円	1	式	565.3千円
消費税				454.7千円
合計				5,000千円

北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鶴川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

2. ストーリーの確立

<p>< 検討概要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 鶴川・沙流川エリアにマッチするストーリーの確立のため、ATにおける“ストーリー”を知ってもらう。 OTA販売の基礎知識について、レクチャーを受けて理解を深める。 <p>< 得られた成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ATの考え方の導入となった。 OTAの仕組み等、基礎知識の理解につながり、実際の販売に関しても理解が得られた。

2.1 セミナー・レクチャーの開催

商品造成やOTA販売を行う前に以下表のとおり、セミナーを開催した。

表3 セミナー・講演開催

セミナー・講演日程				
	日程	場所	講師	概要
第1回	7月31日 (土)	二風谷生活館	一般社団法人 北海道体験観光推進協議会 代表理事 坂本 昌彦 氏	ATに向けての北海道の観光体験の現状 ■ATとは ■北海道体験観光の現状 ■道内他地域の事例 ■西十勝地域（鹿追）の体験観光振興事例
	7月31日 (土)	二風谷生活館	鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部 部長 高田 茂 氏	ATを通じた地域の取組と将来性について ■ATの市場規模・経済効果 ■ATTAとの関係 ■着地型商品の充実 ■ギアや予約システムについて ■コロナ後のトレンドについて ■ATにおける日本のポテンシャル ■ATにおける日本の課題
第2回	2月7日 (月)	オンライン	北の地域観光サポート 代表 藤岡 誠 氏	OTAを活用した着地商品販売について ■旅行商品の販売方法 ■OTAについての基礎知識 ■他地域でのOTAの使い方や販売事例

2.2 ワークショップの開催

造成・販売に係わって以下表のとおりワークショップを開催した。

表4 ワークショップ開催

ワークショップ日程						
	日程	時間	場所	参加有識者	参加人数	内容
第1回	7月21日 (水)	13:30～15:00	平取町役場		12名	・事業概要説明 ・ツアーコース素案解説 ・素案をたたき台とした意見交換会
第2回	7月31日 (土)	13:30～14:45	二風谷生活館	坂本 昌彦 氏 高田 茂 氏	13名	・コンセプト・ストーリーの検討
第3回	2月7日 (月)	14:00～16:30	オンライン	藤岡 誠 氏	9名	・専門家によるアドバイジング ・ツアーコース造成へ向けた検討会
第4回	3月11日 (金)	10:30～12:00	オンライン		10名	・最終報告会 ・来年度へ向けて

2.3 ワークショップの意見抽出

ワークショップ内の意見（一部）を以下に列挙する。

表5 ワークショップでの意見とそれに対する打ち手

	意見	事業への反映
第1回	<ul style="list-style-type: none"> 素案行程だと、ストーリーが無いので外国人に見てもらっても意味がない。一日目の昼食に和牛を食べることもストーリーが無さ過ぎるので早急に練り直す必要あり。 販売の部分に関して明確になっていない部分があるので、はっきりさせる必要あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 素案行程をたたき台に、ストーリーの素案を合わせて策定。7月31日の第2回ワークショップにて専門家からのアドバイスをいただく流れとした。 地域・運輸局・KNT3者での認識をそろえるため、確認のためにも打ち合わせを実施した。
第2回	<ul style="list-style-type: none"> アイヌやサラブレッド等、スペシャルな物はあるが、ATツアーを検討する上では、自転車やラフティングを活用するなどし、移動手段でもサステイナブルを取り入れてみてはどうか。 台湾でもサステイナブルツアーは流行り始めているので、台湾向けにもテストしてみるのが良いかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の販売までに出来ることとできないことの洗い出しを行い、今年度は将来的なATツアー造成のための地域の機運醸成・受け入れ体制の確認に重きを置くこととした。 出来ることの中で、サステイナブルを少しずつ考えられる様検討した 台湾向けのコースと欧米向けのコースの違いを再確認し、モニターツアーのコースへ反映させた
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 地域の販売主体はどこになるか、コンテンツメインなのか、ツアーとして売っていくのか等、改めて地元の事業者さんと意識の共有を図る必要がある。 ツアーコースはタクシーをベースに検討をし、レンタカー客もいることから、コンテンツ単体での販売もあるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> 販売に向けて、地域がタリフの作成を実施し、将来の販売体制に向けての検討を行った。 今までは全てリクエスト型だったコンテンツ商品も、一部在庫商品としてOTAへの掲載を実施した。 ツアーコースの他、コンテンツ単体での販売も同時に実施した。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 販売に関して、コンテンツの部分はアイヌばかりだが、今後は山日高の体験等も磨き上げて載せていきたい。 今後は今回の事業で得た個々の課題をきちんと検討して、地域の共通の課題というのを観光協会とも一緒になって考えていくことが必要。 この地域は、知名度が低いのでなかなか人を呼び込むのが大変だが、行ってみたら面白いと思えるコンテンツが多くあるのが素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に昨今の観光の傾向や地域の目指していることを伝えることができたので、ここをスタートとして今後も続けていく。 今回の結果をヒントに、継続して地域全体でブラッシュアップをしていく。 KNTにも引き続き、販売をしてもらい、情報共有等協力をしていく。

北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鷗川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

3. モニターツアーの開催

< 検討概要 >

DMO・地域観光事業者との打ち合わせやワークショップでの意見を基にコースを策定。各コース、AT有識者、在住外国人の目線より意見を頂戴し、ATの観点から見たアドバイス、各国のニーズと適合するか等の意見を頂戴した。

< 得られた結果 >

欧米豪向けに関して、地域ならではのアイヌ文化を打ち出したストーリーの組み立て。
 台湾向けに関して、地域の特徴とアイヌ文化の調和の重要性。

3.1 モニターツアーの開催

10月に欧米豪向け、11月と1月に台湾向けのモニターツアーを行った。

特に欧米豪向けのツアーに関してはATの観点から、台湾向けのツアーに関してはコンテンツごとの観点から被招請者の意見を頂戴した。

表6 モニターツアー開催

モニターツアー日程				
	時間	場所	参加有識者	人数
第1回	令和3年10月18日～20日	鷗川・沙流川エリア	Japan Powder Ski Holiday Josh Norris 氏 SEG 遠藤 昌子 氏	2名
第2回	令和3年11月28日～30日		オンライントラベル株式会社 温芮羚 氏 只想待在北海道 運営 黄詩清 氏	2名
第3回	令和4年1月16日～18日		オンライントラベル株式会社 温芮羚 氏 只想待在北海道 運営 黄詩清 氏 只想待在北海道 運営 吳舜華 氏	3名

モニターツアー名	概要
第1回 欧米豪向け モニターツアー（夏）	今回のツアーでは、一級河川を見学しながら日高町日高地域（上流）よりむかわ町（河口）までを下っていくツアー。上流域（日高町日高地区～平取町振内地区）には豊かな自然やきれいな水、中流域（平取町二風谷地区）には川を中心に栄えたアイヌの人々の歴史、下流域（むかわ町）～海には新鮮な魚。流域ごとに、川が与える自然の豊かさや、川の近くでどんな文化や歴史が築かれてきたか、などを巡るコース。
第2回 台湾向け モニターツアー（秋）	その土地ならではの「食」を軸に、体験を多く組み込んだツアー。「食」と密接に関わる「動物」「カムイ」「狩猟」を中心とした内容であり、それを伴った体験によりアイヌ文化体験を実施。また、「魚をまるごと焼く」「引退競走馬」「びらとり和牛のステーキ」など食事や体験と絡めた映えが設定しやすいよう、行程を組み立てた。
第3回 台湾向け モニターツアー（冬）	平取町や日高町に訪れるのが二度目以上の台湾人旅行者をターゲットとするツアー。ぶどう蔓を使用したかんじきづくりや実際に鍋を囲んで食事をしたりとアイヌの暮らしを追体験。さらに、日高山脈の雄大な自然を味わったり、地元の民泊を営業しているご夫婦との夕食など、地域の暮らしを巡った。

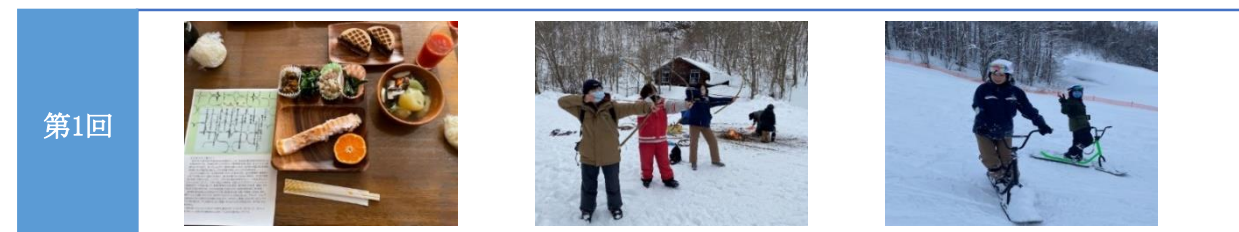
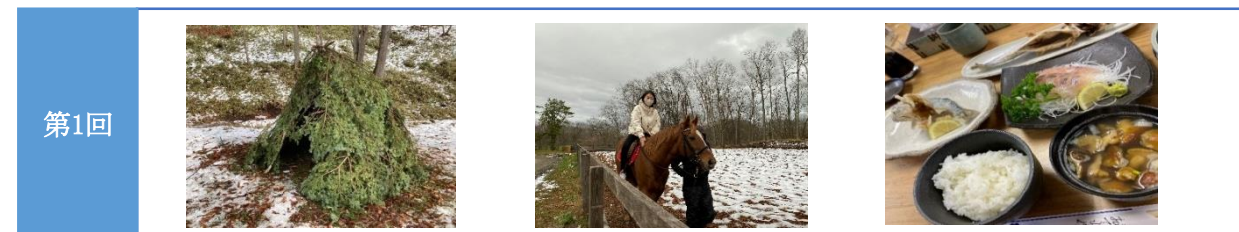


3.2 モニターツアー結果

モニターツアーより以下のような意見を収集し、各コースのブラッシュアップを検討した。

表7 抽出された意見及び検討ポイント（一例）

ツアー	モニター意見	検討ポイント
第1回 欧米豪向け モニターツアー （夏）	今回は川というコンセプトに沿って3日間を過ごしたが、せっかくアイヌ文化が根付いているので、アイヌ文化をもっと押し出していくのがいいと思う。	博物館を見学するだけでなく、深くアイヌを学べるような体験を検討、次回以降のモニターツアーでも体験を想定。
	川にまつわるアクティビティを盛りこめるといいのではないかと。	チブに乗る姿と、SUPの姿が似ているので、コンセプトに沿いながら川に関するアクティビティを楽しめるのではないかと。
	アイヌの方との交流というのはとても貴重でいい時間、時間が許せばもっと話を聞きたかったほど。	今回のユカラ披露の他、ムックリの演奏体験やお客さんと一緒に踊ることができる体験もあるので、組み込みを検討。
第2回 台湾向け モニターツアー （秋）	台湾人は北海道でGoogle mapを見ながらドライブすることが多い。Mapに情報が入っていないと訪れることも出来ない。	Google mapで、ドライブスポットや景観情報の追加を検討。
	台湾人をターゲットとする場合、ツアーの中では、一つのコンテンツだいたい1時間から1時間半で組むのがちょうどいいと思う。	商品化の際に検討、また、次回モニターツアーでも検討材料とする。
第3回 台湾向け モニターツアー （冬）	アイヌ料理は弁当だけでなく、汁物や好みの物を選ぶことが出来ると台湾人は喜ぶと思う。	次回モニターツアーで検討。
	北海道に旅行に来たら、まずは雪遊びをしたい人が多いと思うので、日高からスタートのほうがよいのではないかと。	行程の順番として、日高での雪遊び⇒平取町への流れの確認。
	現地の食材を使用していることを強くアピールしたほうが良い。台湾人は牛肉も好きな人が多いので人気は出やすいと思う。	1日目昼食、夕食はほぼ平取産の食材。最初に食材の説明をするなどしてアピールしていく。
	地域の人との交流は、アクティブシニアに響きやすい。今回の交流を実際に商品化すれば体験したい人はいるとおもう。	「地域と交流」によって来道した方々に高付加価値の提供ができることがわかった。体制作りが必要。



北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鷗川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

4. 受入環境整備

<検討概要>

二風谷地区は、アイヌ文化が根強く残り、今もなおアイヌが多く住む地域として貴重な体験が出来る地区でもある。ウポポイのオープンもあり、機運が高まっているアイヌ文化をより深く知りたいと訪れる人々が増えてくると考え、外国語対応を視野に入れたツール作成や研修を実施。

<得られた成果>

言語能力は、今すぐ上達することはなかなか難しいが、青木氏のレクチャーやガイドツール・音声翻訳機の活用方法等を知った養成ガイドからは、前向きな声が多く聞かれた。

4.1 アイヌ文化ガイドツールの作成

モニターツアーのストーリーに沿ったガイドツールの作成を行った。また、平取町のアイヌ文化に係るガイド会社『株式会社NEPKI』の山田氏の監修のもと作成。訪れた観光客に向けてイラストを見せながらイントロダクションを話せるよう、紙芝居型のツールとし、裏面にスクリプトを記載することで英語が苦手な場合も数回の練習で対応できるような形とした。



図4 ガイドツール（一部）

4.2 音声翻訳機実証

第1回、第2回モニターツアー内、アイヌ文化ガイド育成研修で実験的に使用。今後現地ガイドの多言語対応のサポートとなることができるか、有用性を確かめるために実証実験を行った。

実際に使用したガイド・学芸員・モニターの方々から意見を頂戴した。

表8 実証実験から抽出した意見

ポケットクS	多言語音声翻訳アプリ ボイストラ
<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉を認識する精度があまり高くないので、実際の会話やガイドで活用するのは現実的ではないと思う。 現状、アイヌ文化に係るワードや、博物館の案内で使用されるような専門用語が認識されないため、実際にガイド内で使用するには、相当の工夫が必要であると考えます。 受付や窓口一台あれば、スタッフに聞きたいことを聞くことが出来るのですぐに導入出来ると思う。 単語が簡単であれば、一文が短ければ、その分翻訳の精度は上がるので、定型文で注意事項を伝えたりする分には使えるかと思う。（その場合、録音を作ってしまった方がコスト的にも楽という意見も） 	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳アプリとしての機能は申し分なく、再翻訳の機能があるので、自分の英語が正しいかの確認には重宝する。しかし、実際の会話となると長文の翻訳が必要なので、有用性は低くなってしまおうと感じる。無料でDL出来るものなので、気軽に使い始めることができる。 自分の英語で自信のない部分や、勉強の際には非常に役に立つ。 認識できない専門用語を報告することで、データが更新されることがあるので、今後アイヌ文化に係る専門用語を認識するようになる可能性がある。

4.3 アイヌ文化ガイド育成研修

平取町二風谷地区にはアイヌに係る施設が多く存在しており、“二風谷アイヌ”というひとつのコンテンツとして商品化できるよう、二風谷エリアのスルーガイドの育成を実施。

日時：12月5日（日） 14:00～17:00

場所：《1部》二風谷コタン 《2部》二風谷生活館

講師：北海道通訳案内士協会 専務理事 青木良英 氏

表9 研修内で出た意見など

アイヌ文化ガイド育成研修実施 概要				
	時間	概要	問題点・質問	青木氏よりアドバイス
1部	14:00～15:30	アイヌ文化ガイド研修	<ul style="list-style-type: none"> 通常の会話とは違い、アイヌ語の固有単語が含まれている文章は誤訳に繋がりがやすい 説明者が英語話者ではないと誤訳に気づくことができない アイヌ語であれば特に、翻訳できない単語が頻出する可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 固有単語を説明する文と、用途等を説明する文に分けて翻訳する必要がある ボイストラの場合、再翻訳したものが表示されるので誤訳に気づきやすい 固有単語を登録することが出来る機能があるボイストラが便利である
2部	15:40～17:00	青木氏による講演・質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客と接する際に心がけていることを教えてほしい バスの中での過ごし方について 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の参加者を案内する場合、出身国を聞き出し可能であれば英国、米国、豪州の英語を使い分ける等して和ませる工夫をしている。また、マイノリティ（少人数参加者）に配慮すると、全体がまとまりやすい 特に復路のバスでは、全体に向けてマイクで話すのではなく、バスの後方から少人数で世間話をしながら前方へ帰ってくると喜ばれるケースもある

北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鷓川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

5. 事業成果

<検討概要>

- ・造成したコース、コンテンツについて、設定していたアウトプットおよびアウトカムについて比較する。

<得られた成果>

- ・アウトプット：造成コース3本以上（1泊2日以上）に対し、3本（1泊2日）と日帰りコース（2本）、コンテンツ（4本）を造成。
- ・アウトカムは現在（3/18）0

5.1 事業目標に対する成果

アウトプット「造成コース3本」の目標に対し「造成コース3本（1泊2日以上）」となり達成したほか、「1日（日帰り）ツアー1本」「コンテンツ4件」を造成した。
 アウトカムは現在0である。

	項目	目標	実績(3/18時点)
アウトプット	造成コース数	3	3
アウトカム	販売数	12名 828千円	0名 0円

	目標数	実績数	販売開始時期
販売を開始したコース	3	3	2022年3月～

	販売数	売上額
3月18日時点の販売状況	0	¥0

5.2 コンテンツの造成方針

コンテンツの造成方針を以下の通りとし、商品造成を行った。

	当初	最終	変更理由
ターゲット	台湾、欧米豪	台湾、欧米豪	変更無し
観光資源	二風谷アイヌ文化 日高の馬 しししゃも・恐竜博物館	二風谷アイヌ文化 日高の馬 しししゃも・恐竜博物館	変更なし/特にアイヌ文化を推し進めていくといい

5.3 造成したコンテンツの高付加価値・地域ならではのポイント

第1回モニターツアーで抽出したモニターの見解より、「アイヌ文化」というスペシャルなコンテンツを推し進める。博物館や工芸館を見て回るだけではなく、アイヌのハンターさんや、アイヌのルーツを持つ町内の農家さんとの交流、アイヌの食文化の体験など、より深い体験を盛り込むことでアイヌ文化を知ってもらおう。また、アイヌ文化を軸に、平取町・日高町・むかわ町を周遊できるようなコースを造成するものとする。

5.4 造成したコース・コンテンツ

造成したコース・コンテンツを以下に挙げる。

表10 造成コース・コンテンツ一覧

NO.	名称	種類	概要
1	川とともに歴史を巡る、鷓川・沙流川エリア周遊コース	1泊2日コース	鷓川・沙流川を、流域の今昔の文化に触れながら下るツアー
2	二風谷アイヌ文化満喫！1泊2日文化体験ツアー	1泊2日コース	日高の山の幸、平取のアイヌ文化食・和牛、むかわの海の幸を食べつくすツアー
3	極寒の地日高町とアイヌ文化が息づく街二風谷での暮らし体験！北海道の“暮らし”体験ツアー	1泊2日コース	地元の人とともに、日高のくらしと、アイヌのくらしを体験できるツアー
4	二風谷アイヌ文化を満喫！気分はまるでアイヌの狩人、自然の中で過ごすアイヌ文化体験1日ツアー	日帰り（1日）コース	アイヌのハンターさんや農家さんと一緒にクチャチセづくりやかんじきづくりを体験する日帰りツアー

NO.	名称	種類	概要
6	二風谷コタンガイド (アイヌ文化体験プランⅠ)	コンテンツ	二風谷コタンのガイドツアー
7	アイヌの狩り小屋・クチャチセづくり &キャンプ体験 (アイヌ文化体験プランⅡ)	コンテンツ	自分たちで資材集めからクチャチセ（狩り小屋）を作る体験
8	アイヌのハンターさんに習う・鹿角加工体験 (アイヌ文化体験プランⅢ)	コンテンツ	鹿角をサンドペーパーで加工し、ペーパーナイフを作成する体験
9	山ぶどう・こくわの蔓でかんじきづくり &アイヌの狩人気分ですりこぎ体験 (アイヌ文化体験プランⅣ)	コンテンツ	山に入って材料採集+かんじきづくり+すりこぎ体験

川とともに歴史を巡る、鷓川・沙流川エリア周遊コース (北海道鷓川沙流川エリア)

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ スルーガイドを活用し、ストーリーを意識したツアー造成を実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施

コンテンツを生かした商品概要

概要

平取町・日高町・むかわ町には鷓川や沙流川のように、日高山脈から太平洋へと流れ込む一級河川が流れています。今回は、日高町日高地区（上流）より、むかわ町（河口）までを下るツアー。ラフティングや鮭の遡上見学流域を通し、川が与える自然の豊かさを体験。また、川の近くでどんな文化や歴史が築かれてきたかをスルーガイドとともに巡ります。

➤ 料金 / ¥156,000

➤ 対応言語 / 英語・日本語

➤ 所要時間 / 1泊2日



北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鷗川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

二風谷アイヌ文化満喫！1泊2日文化体験ツアー （北海道鷗川沙流川エリア）

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施
- ・ アイヌ文化を色濃く打ち出すような商品を造成

コンテンツを生かした商品概要

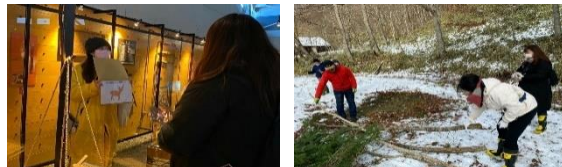
概要

アイヌ文化が今でも色濃い平取町二風谷地区でアイヌ文化の奥深さを体験する1泊2日の文化体験ツアー。アイヌコタンと博物館の展示解説や鹿角加工体験、アイヌの狩人が狩り小屋として使っていたクチャチセづくりを材料調達から行います。ツアーの最後には、自分達で作ったクチャチセの中でアイヌの伝統食材を使ったお茶を飲みながらアイヌ文化を満喫できます。

➤ 料金 / ¥140,000

➤ 対応言語 / 英語・日本語

➤ 所要時間 / 1泊2日



二風谷アイヌ文化を満喫！気分はまるでアイヌの狩人、自然の中で過ごすアイヌ文化体験1日ツアー（北海道鷗川沙流川エリア）

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施

コンテンツを生かした商品概要

概要

アイヌのハンターさんやファーナーさんと実際に山に入り、かんじき・弓矢の材料である山ぶどう・こくわの蔓、柳の木などを調達し、自分達で作成。自作のかんじきを履き、弓矢体験もできます。ハンターさんが町内で獲った鹿肉や、びらとり和牛のBBQを含んだ地域の食材を味わえる夕食プランを含んだ一日満喫日帰りツアー。

➤ 料金 / ¥24,000

➤ 対応言語 / 英語・日本語

➤ 所要時間 / 約9時間



極寒の地日高町とアイヌ文化が息づく街二風谷での暮らし体験！北海道の“暮らし”体験ツアー（北海道鷗川沙流川エリア）

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない
- ・ 目玉となる冬期コンテンツがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施
- ・ 地域の新たな観光資源の発掘

コンテンツを生かした商品概要

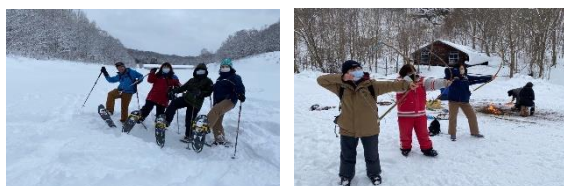
概要

日高山脈のふもと、冬にはマイナス20℃になる日高町と、今でもアイヌの文化が色濃い平取町二風谷地区を計2日間でめぐるツアー。日高町では、自然ガイドと共に、極寒の地のパウダースノーを楽しむ1日を、平取町では、アイヌ民族がかつて冬を過ごしていたように、実際に材料採集を行い、かんじきや弓矢づくり等を体験します。

➤ 料金 / ¥200,000

➤ 対応言語 / 英語・日本語

➤ 所要時間 / 1泊2日



二風谷アイヌコタンガイド（北海道鷗川沙流川エリア）

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施

コンテンツを生かした商品概要

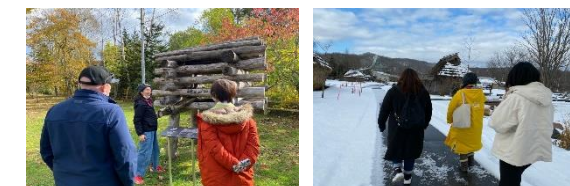
概要

アイヌ文化が今も息づく、北海道の二風谷でアイヌ文化の奥深さを体験。ガイドによるアイヌコタンや博物館の展示解説に加え、アイヌアートに携わる工芸家と交流できます。また、コース上で伝統工芸品の材料になる樹木を紹介しながら、アイヌの神話の中で登場する木のカムイ（神）・川や日の神様についてのエピソードなど、盛沢山でお伝えします。

➤ 料金 / おとな：¥4,400 小学生以下：¥2,400

➤ 対応言語 / 英語・日本語

➤ 所要時間 / 約2時間30分



北海道運輸局 「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」 鷓川・沙流川周遊コンテンツ造成事業 報告書概要版

アイヌの狩り小屋－クチャチセづくり&キャンプ体験 (北海道鷓川沙流川エリア)

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施

コンテンツを生かした商品概要

概要

アイヌの狩人が狩り小屋として使っていた「クチャチセ」づくり。緑深い森の中で材料調達からスタートし、ガイドのレクチャーを受けながら、みんなで松の葉を重ねてドーム型のベースキャンプを作成するワイルドな体験です。完成後は中に入ってアイヌ伝統食材のエント（ナギナタコウジュ）を使ったお茶で自然を満喫できます。

- 料金 / おとな：¥10,600 小学生以下：¥4,600
- 対応言語 / 英語・日本語
- 所要時間 / 約3時間



山ぶどう・こくわの蔓でかんじきづくり&アイヌの狩人気分で弓矢体験 (北海道鷓川沙流川エリア)

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施

コンテンツを生かした商品概要

概要

アイヌのハンターさんやファーマーさん達と一緒に森に出かけて、のこぎりやナタを使い材料調達。ガイドさんのレクチャーを受けながら、焚火で蔓を焼き縮めて、自分の足に合わせてかんじきを作成します。出来上がったかんじきでふかふかの雪を歩く体験やお手製の弓矢を使った簡単なゲームも楽しめます。

- 料金 / おとな：¥8,200 小学生以下：¥4,800
- 対応言語 / 英語・日本語
- 所要時間 / 約2時間30分



アイヌのハンターさんに習う－鹿角加工体験 (北海道鷓川沙流川エリア)

事業実施前に地域が抱えていた課題

- ・ インバウンドに対応出来る高付加価値コンテンツの不足
- ・ インバウンドに向けた効果的な販売ノウハウがない

課題解決に向けた打ち手

- ・ 専門家を招請したモニターツアーの実施
- ・ 専門家によるOTAや旅行会社での販売についての講演及び検討会を実施

コンテンツを生かした商品概要

概要

鹿角でつくるペーパーナイフ制作ワークショップ。アイヌの狩人たちが使っていた弓矢（ク）や儀式に使用する道具の説明を聞き、制作体験のみならず、狩猟道具や、儀式に使用する剣（エムシ）などを実際に手にして使うこともできます。アイヌの伝統工芸である木彫りがあしらわれた道具など見ることができるかもしれません。

- 料金 / おとな：¥8,200 小学生以下：¥4,700
- 対応言語 / 英語・日本語
- 所要時間 / 約3時間

